

人工膝関節全置換術(TKA)に関する

多職種合同勉強会を開催しました！

今年 4 月より整形外科の藤井医師が赴任し、人工膝関節全置換術(TKA)において「Kinematic Alignment(KA)法」の手術手技が新たに導入されています。

先日、リハビリテーション課・手術室看護師・放射線技師のスタッフが集まり、合同勉強会を実施いたしました！



KA 法は、患者様一人ひとりの自然な膝の構造や靱帯のバランスを考慮して人工関節を設置する手法の一つです。患者様の状態に応じた治療の選択肢がさらに広がり、より最適な医療・リハビリテーションの提供を目指しています。

勉強会では、藤井医師より新しいインプラントの特性や KA 法の理論について講義を受け、各職種が今後の連携に向けたポイントを確認しました。

- ・ 手術室看護師：使用する機器・インプラントの特性や構造の理解
- ・ 放射線技師：事前画像評価と正確な撮影ポジショニングの連携
- ・ リハビリスタッフ：術後早期からの最適なりハビリプログラムの検討



新しい治療法が導入される際は、このように多職種で情報を共有し、スムーズに臨床へ移行できるよう進めています。

当院リハビリテーション課では、こうした新しい取り組みや臨床での疑問点に対し、他職種とも連携しながら一つひとつ丁寧に対応していく姿勢を大切にしていきます。